



奥多摩 福音の家 ニュースレター ● 2026.2 ●

News Letter

vol.
84

「ただいま」の声が響く家に

運営委員長

原 雅幸 師

(JECA キリスト教たんぽぽ教会)

コロナ禍という難局を主の憐れみによって乗り切る務めを果たされた大高師に代わり、この度、奥多摩福音の家の運営委員長を委ねられました原雅幸です。就任最初の運営委員会にて、私は「すべての人に『たましいのふるさと』を」という未来像を掲げ、奥多摩福音の家が、このビジョンに向かって改めて献身していくことを確認しました。

実は、この「たましいのふるさと」という言葉は、私にとって単なるスローガンではありません。私自身、この奥多摩福音の家のキャンプで主の愛に触れ、新しく生まれ変わらせていただいた者だからです。さらに、主への献身を揺るぎないものへと導かれたのも、この地においてでした。私にとって福音の家は、まさに信仰の原点であり、文字通り「たましいのふるさと」です。この表現は、奥多摩福音の家40周年記念誌のタイトルでもあります。「たましいのふるさと」を、より広く言い表せば、「日常生活において神を見失わないよう、定期的に立ち返り、神との出会いや信仰告白を深める場所」となるでしょう。

旧約聖書において「たましいのふるさと」は象徴的に「エルサレム」に置かれ、新約時代においては、教会がその役割を担っています。私たちは七日に一度のリズムで、日常を離れて地域教会に集い、そこから新しく日常へと遣わされていくわけです。

その一方で、聖書の記述に目を向けると、七日に一度の安息日に加えて「安息日の中の安息日(全き休みの日)」として、エルサレムへの巡礼が設けられていたことが分かります。生活の現場に近い安息日と、旅をして訪れるエルサレム。この両方が互いを補い合うようにして、神の民に豊かな恵みをもたらすよう定められていたのです。

この聖書的な秩序は、現代における地域教会と、奥多摩福音の家のような働きとの関係に重なります。地域教会の重要性は言うまでもありませんが、地域教会単独ですべての必要をカバーすることは、現実的に困難であり、時には不健全な抱え込みにも繋がりがねません。地域教会と、それを越えた教會的結びつきの場、その両輪があってこそ「たましいのふるさと」は実現していくと信じます。

主なる神は、すべての人が救われて真理を知ることになり(第一テモテ2章4節)、神の家族として新しく生まれ、「たましいのふるさと」を得て、永遠のいのちを生きていくことを願っておられます。この大きなご計画の中に、奥多摩福音の家のミニストリーがあります。もちろん奥多摩福音の家が、すべての人にとって「たましいのふるさと」になると主張するつもりはありません。かつてのエルサレムにいくつもの「門」があったように、地域教会と連携する様々な安息の場が、その役割を果たしていくでしょう。

それでも、この奥多摩福音の家を選び、この門をくぐってくださる方には、どなたにも、ここが「たましいのふるさと」であると感じていただきたいと切に願います。かつて私がここで新しいいのちをいただいたように、訪れるお一人おひとりが主との深い交わりに立ち返る場でありたい。そのためにできること、なすべきことは山のようにあります。祈り献げてくださる皆様に支えられ、頼もしい運営委員会の仲間たち、そして現場のスタッフたちと共に、この使命のために鋭意邁進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。そして、ぜひあなたの「たましいのふるさと」として、奥多摩福音の家の玄関に「ただいま」の声を響かせてください。

非常勤ディレクター
児玉 智継 師
(JECA 布佐キリスト教会)



主の御名を崇めます。

奥多摩福音の家のためのお祈りとお支えを心より感謝申し上げます。

2025年度のすべての主催キャンプを、神様の豊かな祝福と守りの中で終えることができました。多くの方々が、福音の家を訪れてくださり、聖書の御言葉から悔い改めに導かれ、信仰の決心をしていかれました。非常勤ディレクターとして、福音の家を通して、神様の救いの御業が行われるのを垣間見させていただきました。

さて、2022年の6月から、非常勤ディレクターとして奉仕させていただきましたが、3月末をもってその奉仕を終えることになりました。

非常勤ディレクターとしての奉仕が始まったのは、コロナ禍が続く中で、3年振りに主催キャンプを対面で開催した時でした。またこの間に、キャンプコーディネーターの交代もありました。キャンプシーズンには、毎週約3時間の道のりを往復しました。正直に言えば、大変なこともたくさんありました。しかし、振り返ってみれば、献身の思いが与えられた時に、キャンプ伝道の働きに携わることができればと願っていたことを思い出しました。その時の祈りが聞かれたのだと思い、神様の不思議な導きを覚えました。非常勤ディレクターとして奉仕する中で、多くの方々との出会いが与えられました。その出会いの一つひとつは、私にとって本当に大きな喜びでした。

非常勤ディレクターの奉仕を覚えてお祈りくださり、支えてくださった皆さま、本当にありがとうございました。今後とも福音の家のためのお祈りとご支援をよろしくお願いいたします。



中高生winterキャンプ

テーマ: 「Stand In Christ」

講師: 山田 契実 師(松戸福音教会)

参加者: 29名(+キャンセル5名)

奉仕者: 15名



新年聖会

テーマ: 「主に結ばれて実を結ぶ」

講師: 牧 岳司 師(二宮山西キリスト教会)

参加者: 39名(+キャンセル待ち2名)

奉仕者: 6名

Follow Me!

主催キャンプの情報は教会に届くチラシや福音の家Webサイト、SNSでも確認できます。ぜひチェックしてください。

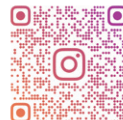
福音の家
Webサイト



Facebook



Instagram



退職のご挨拶

キャンプコーディネーター 東野 開

このたび、奥多摩福音の家のキャンプコーディネーターを退職することになりました。右も左も分からない状態でのスタートでしたが、キャンプのこと、働き方のこと、人との関わり方まで、本当にゼロから丁寧に教えていただきました。失敗の多い日々の中で、忍耐を持って声をかけ、支えてくださった方々に心から感謝しています。また、子どもたちや参加者の方々とキャンプを通して過ごした時間、その一つひとつを導いてくださった神様に、心から感謝しています。これからも奥多摩の地で福音宣教の御業がなされていくことを祈りつつ、感謝をもってご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



お待ちしております！
まもなく再オープンです。

1.川側の2部屋が室内で移動できるよう中廊下が新設されました。2.改装された2部屋。二段ベッドが3台置かれ、6名定員となります。3.グラウンド側の3部屋は床の強度を上げ、換気扇を設置しました。4.外壁はB館と同じサイディングにし、屋根や玄関周り、ドア部分などは再塗装を施して、建物全体の耐久性を向上しました。

運営委員長からの報告

いつも奥多摩福音の家を覚えて、祈りと献げものをもって支えて下さる皆さまに主の恵みがありますように。先日の運営委員会にて、2025年度の決算を確認しました。昨年度は利用者が目標を下回り、667万円程の赤字となりましたが、諸教会・友の会はじめとして支援者の皆様からの献金によって補うことができました(下記グラフ参照)。

2026年度はA館の改修により環境が向上し、多くの利用者が与えられることを期待しています。改修工事は順調に進んでおり、3月16日には再献堂式を行い、予定通り春の小中高生キャンプから利用を再開します。なお、改修費用は現在、リーベンゼラ宣教団からの借入金(総額1500万円)で支払っており、今年度から3年かけて返済していく必要があります。皆さまにも、引き続きお祈りに覚えていただき、志に従ってお献げくださ

いますようお願い申し上げます。2025年度の「A館改修工事指定」献金は11.5万円でしたが、指定がないものも改修費用返済に充てさせていただくことがあります。運営委員会としては、2026年度にA館改修指定・無指定あわせ1000万円の献金が与えられ、返済資金が満たされるだけでなく、続くプロジェクトに向かっていけるよう祈っています。どうか、共に祈りください。

最後に、大高先生の辞任に伴い、新しい運営委員として、阿部真知子先生(JECA・前橋キリスト教会伝道師)をお迎えしました。あわせてご報告いたします。

A館改修・再献堂式のご案内(先着20名)

3/16
11:00~

改修工事完了の感謝と共に主に捧げませんか？
礼拝後に昼食をご用意しています。
電話かメールで福音の家へお申込みください。

2025年 経営状況最終報告



2026年1月のご予約より キャンセル規定を大幅に改定し ご利用しやすくなりました。

これまでは、申込書を提出した時点でキャンセル規定が適用されるため、申込みの時期や人数の確定が利用者の負担となることが課題でした。そこで、繁忙期の指定期間を設けたり、キャンセル料の対象となる期間の短縮をするなど規定を緩和し、幅広くご予約・ご利用しやすくなりました。

キャンセル規定は、大人数のキャンセルによる福音の家の経済損失を防ぐだけでなく、適正な人数での申込みにつながり、特に繁忙期など申込みが集中する期間に少しでも多くの教会・団体様が利用していただけるように設定しています。申込みの際は「ご利用のきまり」をご確認いただき、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

奥多摩福音の家への指定献金は 宣教団ホームページから オンライン(クレジット)決済でも。

リーベンゼラ日本宣教団のホームページ内で、奥多摩福音の家へのオンライン献金が可能になりました。今後は友の会会費のクレジット決済もできるように準備をしていますので、ぜひご活用ください。



宣教団のホームページは福音の家サイト内のリンクまたは、下記のQRコードでアクセスできます。



LMI Japan

カウンセラー応募フォームを開設！ キャンプを通して主に仕えてみませんか？

各キャンプの情報は、ホームページやSNSでもお知らせしていきます。初めての方も、久しぶりの方も、ぜひ応募ください。フォーム記入後に、正式に福音の家からご依頼させていただきます。

右のQRコードは、
各キャンプごとに更新され、
通年同じものを使用します。



Google Form

引き続き「福音の家創立60周年」企画 キャンプに関わる証しをお寄せください。

昨年、創立60周年記念集会に向けて、福音の家の思い出や証しを募集しました。60年の歩みの中にはまだまだ多くの恵みがあると思い、今後はこのニュースレターなどを通して、福音の家やキャンプを通して与えられた恵みを分かち合うことができればと考えています。皆さんのキャンプ関わる証しを、メールか郵送にて、福音の家までお寄せください。
(記名・匿名どちらでも可、300～400字程度)

献金先

郵便振替口座 00170-5-92451 奥多摩福音の家
〈他行から〉 ゆうちょ銀行 〇一九 店(ゼロイチキユウ) 口座番号 0092451

福音の家の利用はホームページからご予約いただけます

◎ご予約可能日、指定期間などを記載した「予約カレンダー」を掲載しています



www.ofi.camp
公式ホームページはこちら



お問い合わせ ☎ info@ofi.camp ☎ 0428-85-2317 (平日9:30-17:30)